

作文添削講座Ⅱ期

(適性検査型Ⅰ)

練習問題Ⅰ (五十分) (全三ページ)

〈提出期間：二〇二三年十月二十五日～十二月二十二日〉

□ 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。

「あなたが目指すのは鉄人28号ですか？ それとも鉄腕アトムですか？」

私は新人生に出会うといつもこう問いかけ、「①鉄腕アトムみたいになろう」と呼びかけています。「鉄腕アトムを目指してどういうこと？」「ロボットになる気なんてありません」って思った人、ごめんなさい。ロボットになれってことじゃないんです。昔々、「鉄腕アトム」と「鉄人28号」という大人気のロボットマンガがありました。もちろん少年であった私もこのマンガに夢中になっていました。どちらもとても強いヒーローロボットなのですが、大きな違いがあります。それは鉄人28号が人間の操作するリモコンで動くのに対して、鉄腕アトムは自分で考えて動き、喜んだり悲しんだりという感情も恐怖心もある人間のようなロボットだということです。「鉄人28号」はリモコンを持つ人によって正義の味方にも悪魔の手先にもなります。それは自分の意志を持たず誰かの言うとおりに動くロボットだからです。反対に鉄腕アトムは自分で考えて行動しますから、悪魔の手先にはなりません。

小学校時代のうちに、もう鉄腕アトムレベルになったという人もいるかもしれませんね。でも「次何をするの？」「できないからやって」なんて誰かに言っただけではありませんか？自分がどうしたらいいか自分で考えることもせずに、誰かの指示を待って動いてばかりいる人は、まだまだ鉄腕アトムレ

ベルとは言えません。それから、何かいけないことをしたり失敗したりして親や先生から「どうしてこんなことしたんだ！」と叱られたとき、「だって〇〇がやるうって言ったんだもん」なんて言い訳している人も鉄腕アトムレベルとは言えません。小学生までならそれも許されるかもしれませんが、中学生になったら大人へと近づくもう一歩次の段階に入ります。ですから自分で考えて、先を見通しながら行動する力をぜひつけていきたいものです。そういう力がつけられるような自分を目指す中学三年間にしてほしい、私はそう思っています。

中学生になったユウマ君は、授業中に立ち歩いたり大声でおしゃべりしたりして、よくいろいろな先生から注意されています。あるとき、注意した先生にこんなことを言っていました。

「人間は自由なんだからボクは何をしてもいいんだ！」

このユウマ君の言葉、あなたはどう思いますか。彼はどうしてこんなことを言ったのでしょうか。ユウマ君のご両親は小学校の卒業式の日、彼にこんな話をしていました。

「これからはユウマも中学生。親にいちいち聞いてばかりいないで自分で考えて行動しなくちゃね」

これまで親や先生から「〇〇しなさい」「〇〇してはいけません」と細かく言われ続けてきたユウマ君。この言葉を聞いて「これからは何でも思いのままだ」と誤解したのでしようか。理由はどうあれ、自分の「やりたい」放題がまじめに授業を聞きたいと思っっている人の「やりたい」を邪魔してし

まっているのです。彼の行動は学級会で問題とされ、「自由」の意味について考えるきっかけになりました。この話し合いをおして自分のしたことの意味を理解した彼は、しつかり反省し「ごめんなさい」とみんなに謝ることができました。

こんなこともありました。カイト君は、朝出かけるときにお母さんから「今日は雨が降るから傘を持っていきなさい」と言われたので、傘をもって登校しました。でも結局雨は降りませんでした。ですからせっかく持っていた傘もそのまま持ち帰ることになってしまいました。しかも運悪く、その日は学校から持って帰らなければならないものが多かったので、傘はとても邪魔でした。大変な思いをしてやつと家にたどり着いたのです。そのときカイト君は、お母さんにこう思いをぶつけました。「まったくもう、お母さんが傘を持っていけなんて言うからいけないんだよ。こんなに大変なことになっちゃったのはお母さんのせいだ!」。こんな経験はありませんか。

小さいときは親や大人がいつもそばにいて、すべきことやしてはいけないことについて指示を出し、子どもはその通りにしていればだいたいうまくいっていたし、もしそれで困ったことがあればいつも誰かが助けてくれました。うまくいかなかった不満は指示を出している人にぶつければよかったです。誰かの指示で動いていたとき、失敗はその誰かのせいにすることができました。でも、自分で決めた行動の場合は誰のせいにもできません。結果はすべて自分が引き受けなければなりません。ですから「自分で決めていいよ」と言われたとき、「②自由って結構大変」という感想を持った中学生も

います。

実は「自由」と言ってもいくつか意味があります。一つはよりよい「今」を求める自由、自分を縛しばっている不自由さから解放たれることです。これを「くからの自由」と呼ぶことにしましょう。もう一つはよりよい「未来」に向かう自由です。自分の願いや自分で考え決めたことにしたがって歩いていく自由です。私はこれを「くへの自由」と呼んでいます。③自由には、

「くからの自由(今)」と「くへの自由(未来)」があるのです。さっきのユウマ君の「何をしてもいいんだ!」という言葉は「くからの自由」を主張したのですね。

(宮下聡『中学生になったら』より)

【問題1】

——線①「鉄腕アトムみたいになろう」とは、どのようになることですか。本文中の「鉄人28号」と比較しながら、五十字以上六十字以内で説明しなさい。なお、くや。や「なども、それぞれ字数に数えます。

【問題2】

——線②「自由って結構大変」とありますが、それはなぜですか。本文のユウマ君とカイト君の例を取り上げて、二五〇字以上三〇〇字以内で説

明しなさい。なお、ゝや。や「なども、それぞれ字数に数えます。

【問題3】

筆者は、——線③「自由には『くからの自由(今)』と『くへの自由(未来)』があるのです」と述べています。では、あなたがこれから実現したい「くへの自由」について、具体的に述べなさい。

ただし、次の「手順」と「きまり」にしたがって、二七五字以上三二五字以内で書きなさい。

〔手順〕

- 1 あなたがこれまで「自由」だなと感じた経験を簡潔に書く。
- 2 「手順」1で書いたことと、筆者の意見を比べて、あなたが気付いたことを説明する。

- 3 あなたが実現したいと考える「くへの自由」を、本文をふまえて具体的に書く。

〔きまり〕

- 最初の行から書き始めます。
- 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- 段落をかえたときの残りのます目は、字数として数えます。
- ゝや。や「なども、それぞれ字数に数えます。